

市議会だより

第157号



日田市ソフトテニス協会の皆さん

もくじ

- 第4回定例会で審議した議案とその結果など … P2～P3
- 令和6年度決算の概要 … P4～P6
- 市政に反映、皆さんの声(一般質問) … P7～P15
- 各委員会の議案等の審査結果 … P16～P17
- 各委員会の行政視察報告 … P17～P18
- 議会のうごき … P19
- インタビュー、編集後記 … P20

令和7年 第4回(12月)定例会

12/1 ~ 12/19 19日間

本定例会では、条例の制定や一部改正、令和7年度一般会計補正予算など、27件の議案について審査を行い、次のとおり決定しました。

■ 本定例会で審議された議案とその結果

議案番号	件名	議決結果
議案第72号	日田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決(多数)
議案第73号	日田市林業生産活動施設の設置及び管理に関する条例の廃止について	原案可決(全会一致)
議案第74号	日田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	//
議案第75号	日田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	//
議案第76号	日田市子ども・子育て会議条例の一部改正について	//
議案第77号	日田市鯛生金山観光施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について	//
議案第78号	工事請負契約の締結について	//
議案第79号	工事請負契約の変更契約の締結について	//
議案第80号	字の区域の変更について	//
議案第81号	日田市多目的交流館の指定管理者の指定について	//
議案第82号	日田市立認定こども園の指定管理者の指定について	//
議案第83号	日田市高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について	//
議案第84号	日田市木材加工施設の指定管理者の指定について	//
議案第85号	隈まちづくりセンターの指定管理者の指定について	//
議案第86号	島内休憩所の指定管理者の指定について	//
議案第87号	日田市公民館の指定管理者の指定について	//
議案第88号	日田市農村環境改善センターの指定管理者の指定について	//
議案第89号	林業センターの指定管理者の指定について	//
議案第90号	令和7年度日田市一般会計補正予算(第4号)	//
議案第91号	日田市一般職員の給与に関する条例等の一部改正について	//
議案第92号	日田市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	原案可決(多数)
議案第93号	日田市議会議員の議員報酬並びに費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	//
議案第94号	令和7年度日田市一般会計補正予算(第5号)	//
議案第95号	令和7年度日田市一般会計補正予算(第6号)	原案可決(全会一致)
議案第96号	令和7年度日田市水道事業会計補正予算(第1号)	//
議案第97号	日田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意(全会一致)
請願第6号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める請願書	不採択(賛成少数)

令和7年第4回定例会 賛否の状況

議案番号	議決結果	賛否		会派名等、議員名及び賛否の別 ※1																				
				市政クラブ						新世ひた				市民クラブ				日本共産党	公明党	新緑				
		賛成	反対	原田裕文	財津幹雄	岩見泉哉	梅原竜也	宮崎陽治	中原晴剛	崎尾亮介	居川太城	石橋邦彦	坂本盛男	三苫誠	佐藤孝彰	井上正一郎	溝口千壽	梶原信幸	中島章二	今井美保	日隈知重	大谷敏彰	松野勝美	坂本茂
議案第72号(議員修正案)	否決	2	18	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●
議案第72号	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第92号	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第93号	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第94号	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
請願第6号	不採択	8	12	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※1 「○」は賛成、「●」は反対(不賛成)、「欠」は欠席を表します。

※2 議長(三苫誠)は、可否同数のとき又は特別多数議決のとき以外は表決に加わりません。

令和7年第4回定例会 賛否の主な討論の内容

■ 議案第72号【議員修正案】 (反対討論)

本条例案は、事業者の事業認可を行うための基準を定めるものであり、提出された修正案は、「市長は、乳幼児の安全又は福祉の確保の観点から適当でないと認めるときは、当該事業の実施を認可しないことができる」と規定するものである。しかしながら、認可に関することは、上位法である児童福祉法に規定されており、修正案で規定しようとする事項と同一事項について規定する国の法令が存在している。従って、認可に関することについて、条例で定める必要はないと考えることから、当該修正案に反対するもの。

■ 請願第6号 (賛成討論)

国の制度の対象にならない、軽度や中等度の難聴の高齢者などに独自に購入費用を補助する市区町村は、518団体であり、2021年の36団体から急速に広がっている。大分県内では、豊後高田市が購入補助を今年から始めている。その背景には、厚生労働省が高齢者の介護予防などの取組を評価し、交付する介護保険保険者努力支援交付金を活用して、補聴器購入の補助を始めていくことにある。

さらに、今年度から、難聴の啓発や早期発見、受診勧奨などの取り組みが認知症総合支援の推進として、評価指標に含まれるようになった。また、特定健診の項目に聴力検査を組み入れることについては、聴力検査ができる検診車を増やせば、巡回検診において聴力検査を行うことが可能になる。以上のことから、請願第6号について賛成するもの。

■ 請願第6号 (反対討論)

高齢者の補聴器を支援することによる、認知症の抑制効果については、厚生労働省などの関係機関の研究によると、難聴と、認知機能低下との強い関連性があると報告されているが、現時点においては、どの程度寄与するかについては未確定である。また、WHOガイドラインにおいても、認知症機能低下や認知症リスクを低減するために、補聴器使用を推進するエビデンスは不十分であるとされている。

難聴と認知機能の低下との関連性については、国の動きを注視するとともに、先進地の事業効果などの調査研究を行い、その結論を経て補助制度を創設すべきであり、今回は時期尚早である。以上のことから、請願第6号について反対するもの。

■ 議案第92号、議案第93号、議案第94号 (反対討論)

人事院勧告は、労働基本権が制約され、給与等の勤務条件の改定に自ら関与できない国家公務員のため、公務員と民間企業の従業員の給与水準を均衡させることを目的として、毎年実施されているもので、特別職の給与や議員の報酬等は、人事院勧告によるものではなく、本来ならば、報酬審議会に諮って提案されるべきものである。国民の暮らしは、物価がこの1年で3%以上も上昇しているが、賃金も年金も物価上昇を下回っており、生活は困難になっている。市民生活や市内経済の状況、そして市民感情も考えれば、市長他、特別職、市議会議員の期末手当は据え置くべきである。

以上の理由から、議案第92号、議案第93号に反対し、この2つの議案を踏まえた人件費を補正する予算が含まれている議案第94号についても反対するもの。

令和7年 第2回 臨時会の結果

去る令和7年11月7日に開かれました臨時会の結果をお知らせします。

臨時会で審議された議案とその結果

議案番号	件名	議決結果
認定第1号	令和6年度日田市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(多数)
認定第2号	令和6年度日田市公営企業会計決算の認定について	認定(多数)

令和6年度 決算の概要

11月7日(金)に臨時会を開催し、令和6年度の一般会計、特別会計、公営企業会計の決算認定について、決算審査特別委員長から審査内容の報告の後、採決を行った結果、「認定」となりましたので、その概要をお知らせします。

使われたお金(一般会計歳出決算額)

402億599万4千円

特別会計歳出決算額 165億5,822万円7千円 (6会計分)

● 普通会計における財政分析の状況

区分	令和5年度 指数等	令和6年度 指数等	順位
	経常収支比率	94.5%	

※普通会計とは、一般会計と特別会計の一部を合わせたものです。

※順位は、県下14市中です。

経常収支比率

毎年決まって入ってくるお金のうち、毎年決まって出ていくお金の割合を示す数字です。数字が大きい方がその割合が高く、財政の融通が利きにくいということになります。

※詳細は、広報ひた令和7年12月1日号(12～13ページ)に掲載されています。

● 決算審査特別委員会委員長報告の概要

歳入では新清掃センターの建設に係る一般廃棄物処理事業債及び自然災害防止事業債の増、歳出では焼却施設等更新事業や子ども・子育て支援給付事業などの増により、歳入歳出いずれも前年度と比較して増額した決算となっています。

このような中、市が行う事業がより効果的な施策となるよう、25項目について付言・要望し認定としました。(p5～p6を参照)

また、水道・下水道事業においては、官民連携方式の導入について、十分な検討と市民の理解が必須であることから引き続き慎重に協議を重ねることと、老朽管更新について、事業実施体制の整備を行い計画的、効率的に実施することを要望し、同様に認定しました。



●各分科会長報告の概略●

総務環境分科会

公共交通対策費

⇒ 地域に根差した利便性の高いもの
とすること!

市税

⇒ 徴収率の向上に努めること!

職員人件費全般

⇒ 時間外勤務の削減、職場環境づくり、
職員採用に力を入れること!

清掃センター管理費

⇒ ごみの分別や資源ごみの収集について
引き続き市民へ周知すること!

集落活動推進事業

⇒ 支援員の確保、関係機関との
連携に努めること!

地域おこし活動推進事業

⇒ 積極的な事業運営に取り組むこと!

施設予約システム構築事業

⇒ オンライン申請の普及啓発を進め、
システム活用に繋げること!

公金振込手数料有料化事業

⇒ 関連法の改正など、国の動向に注視
すること!

地球温暖化対策脱炭素推進事業

⇒ 費用対効果を考慮しながら検討を
進めること!

●各分科会長報告の概略●

教育福祉分科会

重度障害者福祉手当給付事業

⇒ 受給できる権利のある人に確実に
届けること!

奨学資金貸付事業

⇒ 活用しやすい事業への見直しを
検討すること!

重層的支援体制整備移行準備事業

⇒ 体制構築に向けて一層の調査、
研究に努めること!

みどりの給付型奨学金貸付事業

⇒ 給付者の選定方法の見直しを
検討すること!

身体障害者福祉費

及び知的障害者福祉費

⇒ 実効性のある施策の充実に努めること!

図書館管理費

⇒ 市民が主役の図書館建設改修計画
を策定すること!

ひきこもりサポート事業

⇒ サポート体制の強化充実に早急に
図ること!

特別支援教育活動サポート事業

⇒ 補助職員の増員を行うこと、また、
国と県に支援を働きかけること!

学校給食運営事業

⇒ 国の計画、交付金に即時対応
できる準備を行うこと!



●各分科会長報告の概略● 産業建設分科会

奥日田自然観光促進事業 及び 奥日田観光組織運営事業

⇒奥日田ブランドの確立に向けた、
より積極的な取組を行うこと!

産業観光推進事業

⇒産業観光ルートの確立を検討する
こと!

市営急傾斜地崩壊対策事業

⇒県営事業などを考慮し、負担軽減を
検討すること!

スポーツ合宿誘致推進事業

⇒積極的な誘致活動に取り組むこと!

ビジネスサポート運営事業

⇒事業の周知や、支援体制の構築を
検討すること!

集落営農組織等農地保全活動支援事業 及び 中山間地営農経営体強化対策事業

⇒農業振興ビジョンに関する事業には、
より効果的な施策を講じること!

若年者就業支援事業 (UIJターン推進事業)

⇒情報発信の手法を再検討すること!

公職選挙法(寄附行為)に関するQ&A

虚礼廃止に
ご理解とご協力を!

Q 議員が、親族以外の選挙区内の市民へ、寒中見舞い等、時候の挨拶状を出すことはできますか。

A 答礼のための自筆によるものを除き、禁止されています。自筆とは、議員本人の肉筆であって、パソコン等による裏面印刷のものは、自筆とは認められません。

Q 議員の配偶者等の親族が、葬式に代理出席し、議員の香典を届けることはできますか。

A 議員本人が出席する場合は禁止されていませんが、代理出席の場合は、罰則をもって禁止されています。

この他、議員が、団体の総会や地区の祭などで、寸志・ご祝儀やお酒を出すことや親族以外へ贈るお歳暮・病氣見舞い・入学祝いなど、従来から慣行として行われていることであっても、寄附に当たりますので禁止されています。また、議員に対し、市民がこれらを求めることも違反となります。

長澤 千津子 氏(新治町)
財津 加奈子 氏(城町一丁目)
梶原 毅 氏(高瀬本町)
しました。

次の方を任命することに同意

日田市固定資産評価
審査委員会委員の選任

意見募集

ひた市議会だよりをご愛読いただき、ありがとうございます。議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお聞かせください。いただきましたご意見等は、皆様からの貴重な声として、参考にさせていただきます。

FAX 22-8249

メール gikai@city.hita.lg.jp



第1回(3月)定例会の予定

※日程は変更になる場合があります。

2月	26日(木)	本会議(議案説明)
3月	5日(木)	本会議(代表質問)
	9日(月)	本会議(一般質問)
	10日(火)	
	12日(木)	本会議(議案質疑)
	13日(金)	委員会(7年度分)
	16日(月)	本会議(//)
	17日(火)	委員会(8年度分)
	~	
	19日(木)	
	23日(月)	
	26日(木)	本会議(//)



令和7年第4回定例会では、12月8、9、10日の3日間にわたり、一般質問が行われ、17人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。

一般質問

質問

犯罪率と再犯者率を伺う

回答

県の新受刑者、再入者数は減少傾向であるが、再入者率は高い水準で推移し増加傾向である



市政クラブ

原田 裕文 議員

質問 市内に更生保護に関する住居支援施設は何か所あるか伺う。

部長 居住施設機能を備える更生保護施設はないが、生活困窮者自立支援法による居住支援事業で取り組んでいる。

質問 国は、犯罪や非行を犯した人の再犯防止のため、就労支援に力を入れており、市においては、刑務所出所者等の就労支援をどの様に、取り組んでいるのか伺う。

部長 市内には、生活支援センター等や民間の協力雇用主が十

社ほどあり、さらに保護司会やハローワーク、各支援団体としてしっかりと取り組んでいく。

質問 市は今後、再犯防止推進計画の取組をどう進めるか伺う。

市長 保護司や大分県済生会地域生活定着支援センター等と連携を強化しながら、各部署が協力し、推進計画に定める各種制度の利用支援、保護司会への活動支援を進める。



議会をご覧になりませんか

会議は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。車いす(3台分)での傍聴もできます。皆さんのお越しをお待ちしています。





一般質問

質問

ふるさと納税寄附額の目標額と達成予定額を問う

回答

目標額6億5千万円に対し、達成予定額12億円と想定している



新世ひた 石橋 邦彦 議員

質問 寄附額が大幅増となった要因について伺う。

部長 ふるさと納税専門の中間業者の採用と、本年9月がポイント付与最終月であったことによる駆け込み寄附が考えられる。

質問 来年度に向け中間業者との連携をどう考えているか伺う。

部長 返礼品の開拓等についても中間業者や市内事業者とより密接な関係となるよう取り組んでいきたい。

質問 旧郡部の振興に向けたプロジェクトチームの動きが地域存続に大きく関与してくるがそ

の動きを伺う。

部長 地域の声を拾い上げ、プロジェクトチームで共有し議論がなされているが、まだ足りない面もある。今後は更に連携を深めて農林業、観光等の振興につなげていきたい。



ふるさと納税のチラシ

一般質問

質問

ふるさと納税の現状について伺う

回答

10月末時点で寄附件数3万4792件、寄附額8億7564万8200円となっている



市民クラブ 中島 章二 議員

質問 ふるさと納税「水郷ひた応援基金」の推移について伺う。

部長 令和7年度10月末時点で寄附件数3万4792件、寄附金額8億7564万8200円となり、前年同月末比較で寄附件数は4.1倍、寄附金額は4.5倍の増となっている。

質問 より活用しやすい物価高騰対策事業について伺う。

部長 国から重点支援地方交付金の拡充が示され、いろいろな角度から生活者や事業者を支援するための事業を検討している。

質問 日田市手話言語条例の趣

旨や手話について理解を深めるためのリーフレット作成について伺う。

教育長 児童生徒向けのリーフレットをタブレット端末で、いつでも活用できることが有効であると考える。日常生活で興味関心を持って手話に触れていくことに活用できるリーフレットづくりについて検討していく。



質問 精神科医の松本俊彦氏は「10代、20代で自殺した若者の多数が不登校経験者で、そのうち75%が短い不登校期間で学校に復帰していた」と報告している。不登校の子どもの心の傷の理解と休息、回復を基本に支援しているか。

教育長 まずは心の傷や心身の疲弊、心の葛藤などに対する理解を行う。休むことも必要なのだ、休んでいいんだということが基本に据えることが重要。短い期間での学校復帰のみを目指すことがないように留意しな

	2022年	2023年	2024年
小中学生の不登校	148人	178人	173人
月に3日以上欠席	764人	1,492人	1,580人

小中学校の不登校人数
(日田市)

※不登校児童生徒の定義
⇒1年間に30日以上、欠席した児童生徒

ればならない。

質問 どの子ども安心して過ごせる環境を整えるべきではないか。

部長 学校が安心して過ごせるような場所となるように、職員や友達と話したり、触れ合ったりするといった学習以外の活動も行っている。別教室での活動も見直しや再検討が必要だ。

質問 放射線治療が行われない現状を、市はどのようにとらえているのか。

部長 新たな装置を導入した場合の金額が約4億円になることや、人口減少などに伴う患者数の減少傾向の中、病院側が経営改善を進めるために、苦渋の判断をして、やむなく断念したものと認識している。

質問 不安が残るが、今後、救急医療をはじめとして、地域医療を支える中核病院としての役割を担っている済生会日田病院と日田市との連携について昨年

からの経緯と現在の状況、今後の取組を聞く。

部長 昨年夏、財政支援の要望があり、本年3月に経営改善会議を立ち上げ、10月の会合ではコンサルタント事業者より抜本的な経営改善策が報告された。今後引き続き大分県など関係機関とも十分な連携を図りながら経営改善に向けて取り組んで参りたい。



一般質問

質問

不登校の子どもの心の傷の理解と休息を基本に支援しているか

回答

学校を休むことも必要、休んでもいいんだを基本に据える



日本共産党

日隈 知重 議員

一般質問

質問

市内で放射線治療ができないことについて市民からの相談があったか

回答

市に直接届いていないが済生会日田病院には負担が大きいという声があったと聞いている



市民クラブ

今井 美保 議員



質問 図書館計画について、スピード感に欠け、市民の議論が具体策に反映されるか不透明だ。

教育次長 今回まとめた基本理念に沿って、具現化に向けた計画を策定していく。

質問 最終まとめが「理念」に留まるのは、市民の期待とズレているのではないか。

教育次長 会議では多様な意見が出た。寄せられた意見は今後の事業に反映したい。

質問 伊万里市や山陽小野田市等の事例を参考に、直営の利点を活かし、市民が自発的に関わ



山陽小野田市の市民創発会議

る仕組みを構築すべき。

質問 日田駅舎について数か月もの「空白期間」が生じている。「進撃の日田フェスタ」等の拠点として暫定利用するなど、柔軟な対応はできなかったのか。

部長 原状回復や保安上の制約から短期利用も困難であり、検討しなかった。

質問 済生会日田病院が公的機能を担っているが地域医療をどのように守るのか。

部長 既存機能は維持する事が望ましく済生会については四者協議を行っている。

質問 放射線治療ができなくなり機能が縮小していく中、今後も済生会が公的機能を担っていく考えか。

次長 重要な医療機能を維持する事が望ましいが経営の持続可能性も踏まえ方向性はまだ定まっていない。

質問 他自治体では公的病院向



一般質問

質問

図書館議論と市民参画の在り方は

回答

基本理念に沿って具現化に向けた計画を策定する



無所属

高倉 貴子 議員

一般質問

質問

地域医療と地域中核病院をどう守るのか

回答

既存機能を残す方向性で財政支援の必要性の有無も判断する



市政クラブ

崎尾 亮介 議員



一般質問

質問

市の経済対策について伺う

回答

多くの市民を支援できるような事業の構築を考えている



公明党

松野 勝美 議員

質問 これまでのプレミアム商品券事業については、一定の効果があったと理解していいの伺いたい。

部長 プレミアム商品券事業については、コロナ禍以降4回の実施をしてきた。物価高騰対策というような意味でも非常に効果の高い事業と認識している。

質問 これまでと同様に電子と紙媒体での支援になるのか。

部長 プレミアム商品券事業の実施は、商工会議所、商工会など関係団体の協力が必ず必要になる。そういった団体とも協議

を行いながら、市全体でもこの事業以外にも物価高騰対策事業というのが検討されると思う。対策全体を見ながら、協議し検討していく。

質問 この他、空き家対策について、マイナンバーカードについて、ひきこもり支援について質問した。



一般質問

質問

地域おこし協力隊について、インターンなどの制度導入の検討は

回答

今後、調査研究していきたい



新世ひた

居川 太城 議員

質問 RMOという、地域の暮らしを守る人々が中心となって、様々な地域団体が連携し、地域課題の解決に向けた取組を行う仕組みがある。国が推奨するRMOについて、市の見解を伺う。

部長 本市では大山区、中津江地区、上津江地区において住民自らの手で安心して暮らせる地域を作る住民自治組織が活動しており総務省の定めるRMOと同じ位置づけと捉えている。

質問 総務省は去年、過去最高の地域おこし協力隊員数と公表しているが、日田市では隊員は

1名しかいない。そのため「おためし地域協力隊」や「地域おこし協力隊インターン」といった、体験を行った上で判断するといった、隊員確保に向けた制度の導入検討を行えないか伺う。

部長 他自治体の活用状況やアドバイザー派遣の活用等も含め、今後、導入について調査研究していきたい。





一般質問

質問

SWS西日本アリーナ日田の空調使用料改善の進捗を伺う

回答

今議会において、設計費用に係る予算議案を提出している



市政クラブ

中原

晴剛 議員

質問 総合体育館空調設備改修

事業の基本設計において何を優先条件として設計するのか伺う。

部長 空調方式の検討、各種の

比較など行う予定としている。

質問 更新事業を行うことによ

って、どのくらい利用料が下がると考えているのか伺う。

部長 性能自体は上がるので、

利用料自体は下がるものと考えている。

質問 工事が完了するまでに、

どのくらいの期間を必要とするのか伺う。

部長 令和9年度中に完成を想



定している。

質問 更新するまでの間の空調

使用料は、どのように考えるのか伺う。

部長 現在の料金体系を維持す

る方向で考えている。

質問 その他、日田市スポーツ

施設の芝環境について、親族不在の死亡者への対応について質問した。

一般質問

質問

日田彦山線BRT地域振興事業補助金の積極的活用を求める

回答

地域からの声に対して、可能な限り補助金を積極的に活用して事業を進める



市民クラブ

梶原

信幸 議員

質問 BRTの利用促進のため、

道路改良にも補助金の活用ができるのではないかと。

部長 BRTに接続する二次交

通として位置づけされている路線については、条件を確認し補助金の活用を検討する。

質問 住民の要望に応える線路

跡地の適切な維持管理は、JR九州に伝えているか。

部長 地域住民から草刈りの要

望があった際には、その都度JR九州へ連絡し、対応をお願いしている。また、協議などの場

でも伝えている。

質問 線路跡地の有効活用をJ

R九州に提案することはできないか。

部長 沿線地域の振興になる活

用について、JR九州との会議や協議の場で提案していく。



豪雨で流れてきた奇跡のバナナ

一般質問

質問

森林における生物多様性に関する市の考えについて伺う

回答

事業との関連付けが難しく、説明や証明は困難である



市政クラブ 宮崎 陽治 議員



質問 林業施設の現場で使用されるチェーンソーオイルとして

生分解性オイルに対する補助を、森林環境譲与税の使途としてメニューに加えられるか伺う。

副市長 生分解性オイルの使用に対する補助が、森林整備面積の増加につながるとは考えられないことから、森林環境譲与税の使途として説明が困難である。

質問 表面上は環境保護、クリーンなイメージの林業だが実際は

土壌、河川を汚染してきたという事実があるがどう考えるか。

副市長 確認できていない。



質問 下流域のうきは市が取り組み、上流域の日田市が取り組まないという現状について、市の考えを伺う。

副市長 生物多様性保全に寄与しているということを証明するほどまでには飛散量が微量であるため、使用する効果についての証明は困難である。

質問 今後、草刈りや支障木除去の継続が課題であるが、どの様に道路の環境整備を進めていくのか。

一般質問

質問

市道の草刈り委託料の単価アツプは出来ないか

回答

単価見直しの必要性については、様々な意見を聞いて検討する



新世ひた 佐藤 孝彰 議員



質問 今後、草刈りや支障木除去の継続が課題であるが、どの様に道路の環境整備を進めていくのか。

部長 今年度から新たな取組として地元住民の方々を会計年度任用職員として採用し、道路や市有財産全般の維持管理を行ってもらう取組を試験的に実施している。道路インフラ全般の維持管理の抜本的な見直しが必要であり、将来を見据えた検討をしていく。

質問 集落支援員の仕事は月に19日間になり、活動内容も多様な意見聞き検証していく。

部長 職員にすると、地域の実態に即したきめ細やかな活動に制限ができる可能性がある。また待遇については聞き取りやアンケートを実施して支援員の率直な意見を聞き検証していく。





一般質問

質問

高瀬こども園の開園時期は計画通りに進んでいるのか伺う

回答

現時点では、明確な時期を答えられる段階にはない

質問 高瀬こども園の開園時期はいつ頃を想定しているのか。

部長 当初予定していた令和9年4月は厳しくなっているものと認識しているが、今後、地域住民としっかり合意形成を図っていく必要があり、明確な時期を答えられる段階にはない。

質問 当初のスケジュールから大幅に遅れているが、これは市の事務手続きに不備があったのではないか。そうであれば、今後の再発防止策などが必要ではないか。

部長 地域住民から未だ理解を



得られていない状況を踏まえる

と、新園の建設を急ぐあまり、説明が不足していたと考えられるため、結果として、地域住民に対する丁寧さを欠いていたのではないかと認識している。

質問 この他、斎場の管理運営について、残骨灰の対応について質問した。



新世ひた

坂本



盛男 議員

一般質問

質問

公共施設等総合管理計画の10か年での進捗状況は

回答

延べ床面積の削減目標には達しなかった

質問 平成29年策定の公共施設等総合管理計画の10か年での進捗状況を伺う。

部長 令和7年度末までの延べ床面積の削減目標を18.4%としていたが、6年度末までの削減率は8.4%である。

質問 削減目標に達しなかった主な理由を伺う。

部長 民間移管や地域移管において、移管先となる団体との合意形成に時間がかかることや、解体施設については、財源確保にも時間がかかったため。

質問 令和8年からの第二期実

施計画10か年の削減計画の特徴的なものを伺う。

部長 課題の精査や、先進事例などを参考とし、施設の複合化を積極的に進め、施設の劣化度を客観的にとらえて修理解体を判断するなど検討を進める。

質問 第二期の実施計画では、地元との協議を十分に行ったうえで削減目標に届くよう努力することを要望した。



市民クラブ

井上正一郎 議員





一般質問

質問

ひたはしり号の料金100円について考えを伺う

回答

地域公共交通確保維持協議会にて適正な運賃について審議する



市政クラブ 梅原 竜也 議員

質問 ひたはしり号の更新時期や更新計画を伺う。

部長 現在使用している小型低床車両は、メーカーが受注を停止しており、他のメーカーは、生産をしていない状況であり、電気バスへの導入も併せて検討する必要があります。また、車両の老朽化により順次更新する必要があり、更新計画を策定し、令和9年度から予算計上していきたい。

質問 ひたはしり号の年間経費は5年間で1000万円増加し、令和6年度は年間約5200万円である。車両も更新するので



あれば、運賃の引上げは仕方ない状況ではないか。

部長 運行に係る経費が年々増加しており、人件費や物価高騰に対応し、公共交通を持続可能なものとする為には、料金の引上げを検討する時期にきている。質問 この他、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について質問した。

一般質問

質問

若者の市内定住促進対策として、奨学金の返還支援制度に取り組んではどうか

回答

支援について具体的に検討していく



日本共産党 大谷 敏彰 議員

質問 奨学金の返還支援制度の実施状況をつかんでいるか。

部長 大分市や中津市で取り組んでおり、市内企業への定着や従業員の福利厚生に効果がある。質問 ひきこもりの実態調査と支援の取組をどう考えるか。部長 初めて本格的な調査を行った。分析、検証を行い、実効性のある支援策の検討に生かす予定である。

質問 日田市生活支援センターには様々な相談事が持ち込まれる。伴走的なひきこもり支援につなげるためには、より専門的

な体制が必要ではないか。

部長 今年度から専門職を活用した相談支援に取り組んでいる。実態調査の結果や分析を踏まえて必要な体制を考えていく。質問 この他、上下水道の民営化やエアコン設置の補助制度について質問した。





報告

各委員会の
議案等の審査結果

総務環境委員会

子育て応援手当や、商品券の発行など、物価高騰に対する支援策の財源として、国庫支出金や県支出金を増額

●令和7年度日田市一般会計補正予算について(第4～6号)

今回の主な歳入の補正(第4号)は、公共土木施設の災害復旧事業などに対する国庫支出金、農林業施設の災害復旧事業などに対する県支出金及び寄附金並びに事業費に対応した市債の増額のほか、不足する一般財源所要額を財政調整基金等からの繰り入れにより措置するものです。(第5号)は、国の人事院勧告に基づき職員給与の改定及び新陳代謝に伴う調整のほか、特別職及び議員の期末手当の改定に伴うものです。(第6号)については、国の総合経済対策に伴い、物価高騰に対

する支援策として実施される、子育て応援手当の支給のほか、給付型商品券の配布や、プレミアム付き電子商品券の発行、水道料金の負担軽減に係るシステム改修費用の財源として、国庫支出金を6億3485万6千円、県支出金を2億2030万円、増額するものです。

●日田市多目的交流館の指定管理者の指定について

本案は、令和8年4月1日から5年間の指定管理者を再指定するもので、指定管理団体役員の高齢化も進んでいるため、今後の維持管理や運営に対してのアドバイスなどを行い、次の5年後の更新に向けて、団体の意向を尊重しながら、施設運営の在り方について十分に協議を行うよう要望しました。



教育福祉委員会

乳児等通園支援事業の設備
と運営の基準を承認する

●乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)

乳児等通園支援事業は、保育所などに通っていない生後6か月から満3歳未満の子どもを対象とし、月10時間までの利用可能枠の中で、保護者が働いているかを問わず時間単位で柔軟に利用できるものです。審査の中では「条例の中に、過去に園児の死亡など重大な事故や問題を起こした事業者を排除する規定がない」などの反対意見があり、条例の一部を加筆する修正案が提出されました。採決の結果、修正案は賛成少数で否決され、執行部案が可決されました。

●学校給食センター費の増額

物価高騰により、小学生1食284円、中学生1食322円では足りないため、小中学生ともに1食あたり約30円の増額が

必要となりました。委員会は国に十分な財政支援と、市に給食の質を維持する要望をしました。

●子育て応援手当給付事業

物価高の影響を受けている子育て世帯への支援として、0歳から18歳までの児童1人あたり2万円を支給します。担当課は対象者9千人、来年2月から保護者の預金口座に振り込むと説明しました。委員会は、対象者の適切な把握などに努め、事務手続きに手抜きが無いよう要望しました。

こども誰でも通園制度

対象
0～2歳のお子さんがあるご家庭

通える施設
近くの保育園・幼稚園などに

利用方法
●好きな日に
●好きな時間
●1日だけでもOK



産業建設委員会

商品券の給付、発行に際してサポート体制の充実を求める

●日田市鯛生金山観光施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について

本案は、金価格の高騰に伴い、利用料金の限度額を改定するものです。値上げによる利用者減少の懸念があることから、観光への影響、利用者の声など、情報収集を行ったうえで料金を改定するよう要望しました。

●総合体育館空調設備改修事業

SWS西日本アリーナ日田等の空調設備更新及び整備に向けた設計を行うものです。利用率向上のためにも、設備の整備に併せて空調使用料の見直しについても検討するよう要望しました。

●物価高騰対応給付型商品券発行事業

●物価高騰対応プレミアム電子

商品券発行事業

物価高騰の影響を受ける生活者や事業者支援のため、商品券の発行を行うものです。給付型については配慮が必要な世帯への確実な配送を、また初めての電子商品券のみとなるプレミアム事業については、周知徹底とサポート体制の充実を図るよう要望しました。

●令和7年度日田市水道事業会計補正予算(第1号)

本案は、生活者や事業者への支援として令和8年に実施予定の水道基本料金の無償化に向け、必要な料金システムの改修を行うものです。今回の事業で支援対象とならない世帯へのフォローなど、別途必要な施策の検討を求める意見がありました。



常任委員会の行政視察報告

●総務環境委員会

◆期日：令和7年11月17日(月)

5月19日(水)

◆視察地・項目・内容

- ①笠岡市(岡山県)
- ・新山地区自治会の取組について

↓全国的にも共通する自治会の課題について、その解決に向けた取組や、活発な活動の内容と若い世代の参加を促す工夫などについて、取組状況やその効果を調査しました。

②井原市(岡山県)

- ・井笠広域一般廃棄物埋立処分場の施設視察、取組について

↓令和4年に新設された当該施設において、埋立処理に係る環境対策や、建設に至るまでの経緯、地元との合意形成や問題点などについて、調査しました。また、地元住民とのコミュニケーション

シヨンづくりや、その手法など具体的な内容についても学ぶことができました。

③呉市(広島県)

- ・ICTの活用による自治会役員の負担軽減策について

↓ICTの活用により、どのような効果があったか、市民への情報伝達のスピードや、導入までの準備、自治会役員の不安に對し、どのような取組をしたのかなど、具体的な事例を調査しました。





● 教育福祉委員会

◆ 期日：令和7年8月18日(月)

～8月20日(水)

◆ 視察地・項目・内容

① 泉佐野市(大阪府)

・オーガニック給食の取組について

↓地元産品や国産有機農産物の活用、SDGsや食育の観点を重視したオーガニック給食の導入の経緯や調達方法、現場での工夫や課題について調査しました。

② 泉大津市(大阪府)

・マタニティ応援プロジェクトについて

↓食による妊婦の健康増進や経済的支援などのため、栄養価の高いお米を妊婦に送る全国初の取組について調査しました。

・新型コロナウイルスの救済制

度と窓口について

↓ワクチン接種による健康被害が生じた場合に、独自の支援金制度などを設け、国の救済制度



の申請後に生じる自己負担分を軽減する取組について、また、職員の窓口体制や医師による相談体制、市民への周知状況などについて調査しました。

③ 茨木市(大阪府)

・文化・子育て複合施設「おにくる」について

↓ホールや図書館、子育て支援、市民活動センター、プラネタリウムなど、多彩な機能が入る複合施設の建設の経緯や目的などについて調査しました。

● 産業建設委員会

◆ 期日：令和7年11月18日(火)

～11月20日(木)

◆ 視察地・項目・内容

① 水戸市(茨城県)

・近世日本の教育遺産群に関する取組について(弘道館)

↓近世日本の教育遺産群として、日田市の咸宜園などと共に日本遺産に認定されている弘道館について、他市や地域との連携、これまでの取組や今後の課題等を調査しました。

② 宇都宮市(栃木県)

・ウォーターPPPの導入検討について

↓日田市でも導入を検討するにあたって様々な課題がある中で、下水道事業を持続的に運営していくための一つの手法として導入を検討している宇都宮市上下水道局の現状や背景、今後の計画について調査しました。

③ 足利市(栃木県)

・近世日本の教育遺産群に関する取組について(足利学校)

↓近世日本の教育遺産群として、日田市の咸宜園や水戸市の弘道館と共に日本遺産に認定されている足利学校について、他市や地域との連携、これまでの取組や今後の課題等を調査しました。

当日、史跡内では地域の子どもたちが落ち葉掃除をしている場面もあり、地域に根差した光景を目にすることができました。





議会のつぎ



決算審査特別委員会の開催

9月17日(水)に決算審査特別委員会が設置され、第1回全体会が開催されました。第2回の全体会では執行部から令和6年度決算概要について説明を受け、10月6日(月)から10月16日(木)の間、分科会ごとに決算の詳細について審査が行われました。

また、11月7日(金)の臨時会で審査内容の報告が行われました。



決算審査全体会の様子

日田玖珠議長会議員研修会を実施

この研修会は日田市、玖珠町、九重町各議会相互の連携を図るため、例年11月に実施しているものです。

今回の研修会では、自治体議会研究所の代表、高沖秀宣氏より、「議会の質を高める質問力」と題し、議会の役割や一般質問、政策提案に関することなどについて、ご講義いただきました。



研修会の様子

議員相互の自由討議を実施

議員相互間の自由討議を、12月定例会中の12月11日(木)に実施しました。

今回の議題は、

①「上下水道を民営化してよいのか」

②「挨拶を交わす町づくり条例を作ろう」と題して、意見を発表・提起し、その提起に基づき議員間で活発な討議が行われました。

今回のまとめとして、①「上下水道を民営化してよいのか」については、様々な課題や将来世代への責任などがある中で、常任委員会を通じて執行部と十分な情報共有を図っていくこと、また、②「挨拶を交わす町づくり条例を作ろう」については、各会派にて必要性を協議するなどした後、政策研究会にてテーマとして取り上げるか否かを判断していくという方向性となりました。

どちらの議題も、議員からは活発な意見が飛び交うなど、大

変有意義なものとなりました。



議題①発表の様子

災害義援金の贈呈

11月18日に大分市佐賀関地域において発生した大規模火災により甚大な被害が生じている大分市に対し、日田市議会議員一同は災害義援金を贈りました。

被災された方々に対し、衷心よりお見舞いを申し上げますとともに一日も早い救済と復興を念願するものであります。

日田市議会



表紙の皆さん

今回は平成17年の設立以来、ジュニアを含めて、約百名の会員がいる日田市ソフトテニス協会の竹井信之会長にお話を伺いました。

活動状況

サガラ杯やヨネックス杯などの争奪戦の大会や日田市ソフトテニス選手権大会、全九州天領日田シニアソフトテニス大会を始め、それぞれが出場予定の大会に向けて、毎週、大原総合運動公園や竹田公園のテニスコートで、練習に励んでいます。

さらに、大分県内を含め、九州や四国、関西方面から大会に参加される方もいるので、一年を通して、コートでの練習には熱が入ります。



活動状況

活動の中で苦労していること

大会前になると、コートの貸し出し申込みが多く、コートの不足が発生することがあるので、その手配に苦慮しています。

また、ジュニアの大会時には、家族で観戦に来るので、暑い期間が増えている状況から、日よけ対策が必要となります。

ジュニアの教室

青少年の健全育成にも力を注ぎたいという思いで、6年前から、ジュニア教室を始めました。大分県からも要請があり、小学校3年生から中学校3年生まで、現在は、50名の児童生徒が練習に参加をしています。

若年層の底上げと実績づくりを目指しながら、週に3回の教室を行ってきた結果、昨年3月には、大分県代表として小5のペアが全国大会に出場しました。

大会50回出場の快挙

昨年行われた大分県民スポーツ大会のソフトテニスの競技において、連続50回目の出場を果たす事ができました。

両親がテニスをする中で61年前にテニスを習い始めました。過去に怪我(肉離れ)をしたことがありましたが、周囲の方からの激励により、テーパーグをして出場したこともありまます。また、両親が経営している事業が大変な状況下でも、協会の方たちなどの激励により、乗り越えることができました。そのことが現在までテニスを続けてこられたことの原動力となっています。

今後の協会運営について

ソフトテニスを愛する人々を増やしていくためにも、様々な環境づくりとジュニア教室の充実を図っていくことと思います。

そして、あいさつ運動と積極的に声をかけていくことをさらに実行しながら、地域と密着した協会を目指していきます。



50回出場の快挙
(日田市第1号)

編集後記

昨年で78回目となった大分県民スポーツ大会の趣旨は、「広く県民の間にスポーツを普及・振興させ、県民の健康増進と体力の向上を図り、明るく豊かな県民生活の形成に資するとともに、地方文化の高揚と地域の活性化に寄与しようとするものである」となっています。性別や年齢別等、県民の各層が広く参加できるように配慮されており、ふるさと選手制度を活用した参加も可能となっています。ソフトテニス競技には、日田市から25人9ペアで参加し、熱戦が繰り広げられました。

竹井会長は、児童生徒に常に、「怪我をしないように、あいさつをするように、感謝を忘れないように」と声をかけています。日頃の心掛けや周囲への心遣いも、今回、50回目の出場に繋がった要因であると感じました。

(議会報編集委員会委員)

坂本 茂

◎市議会だよりのお尋ねは、市議会事務局(☎08214)へ。市議会だよりは環境に優しい「植物油インク」を使用しています。